



神石のひと

合同会社 ネオクリエイト
えんどう しょうじ
代表 圓道 正嗣 さん



令和3年8月に牧地域の田辺石油店跡に事務所を構え、独立された圓道さんに、独立のきっかけ、今後の事業展開についてうかがいました。

独立の目的は地元への貢献

地元商品のPRから定住促進へ

Q. 独立されたきっかけは？

今まで、大手企業の加盟店として仕事をしていた。でも、神石に事務所があるのに町外の仕事ばかりで。神石でとれた米や野菜を食べたりして、地域の恩恵を受けて生活し

Q. 今後の事業の展開は？

今までの仕事も

続けているから、新事業で地域貢献したいです。『地元の人々が、地元の商品を使って、地域の為に何かやる』がテーマです。今ある神石の特産品を地域ブランド化して、今の購買層と違う年代に売り込み、販路を拡大したい。その商品を通じて神石の自然や観光情報、手厚い子育て支援制度など魅力発信し、最終的に定住促進に繋がればと

考えてます。ここでの生活は、住んでみないとわからないことがいろいろあります。地域の習慣や風習などを説明したりして、住民の皆さんと移住者のパイプ役になればと思っています。



現在商標登録準備中の地域ブランド『JINSEKI BASE』（じんせき ベース）のロゴマーク。イラスト部分は神石の美しい山々を表現しています。

は、ネオクリエイトまで。
☎0800-630515
736)

神石協働支援センター11月専門部会報告 神石地区の課題を絞込みました。

まちづくり事業部会

まちづくり事業部会と福祉事業部会では、今後5年間の事業の柱となる神石地区の課題の絞込を行いました。

現在、猟友会で試験運用中の有害鳥獣対策や、住民の防災意識の啓発事業のほか、農業では耕作放棄地や遊休農地、人手の確保の問題、子育て支援や移住促進の一環として、子どもの遊び場の充実などが課題として上がりました。今年度事業としては、心も体も寒くなりがち



福祉事業部会では、高齢者の見守りと地域で開催されるサロンなど、みんなで集る場所の充実、買い物支援が重要な課題として上がりました。まず、地域の高齢者の

福祉事業部会

な冬場に、イルミネーションを装飾し地域も気持ちもあたたかくなれる事業の検討しました。

見守りや集いの場の現状を集約します。

今年度事業としては、認知症についての考え、理解を深めるための講習会開催を検討しました。



参加者の多いスマートフォン教室

生涯学習事業部会

魅力ある生涯学習講座の開催について協議しました。年代ごとに参加しやすい開催日時、スポーツ系、学習系、文化系、あったらいいな、やってみたいなどと思う講座など様々な意見が出され、みんなが楽しく学べる企画について考えています。今年度事業としては、部会員で映画を選定し、みんなで楽しめる映画上映会の開催を検討しました。

青少年育成神石高原町民会議 神石地区委員会



神石支所前と正門入口に交通安全旗収納庫を新設。

神石小学校の児童が登下校中、横断歩道を渡る際に使用する交通安全旗の収納庫を新設しました。

児童の登校時間は出勤時間と重なり、交通量も増えます。交通安全旗を持った児童を見かけられたら、ドライバーの皆さんは減速し、児童の安全な登下校にご配慮ください。

交通安全旗収納庫新設

神石高原中学校 地域ふれあい行事

～ボランティア活動で神石の魅力、再発見!!～

令和3年11月5日（金）
神石高原中学校の神石地区出身の生徒38名が、神石地区の方々とのつながりを深め、地域の良さを再発見するため、観光シーズンの神龍湖周辺の清掃などを行いました。生徒たちは遊歩道の落ち葉の清掃や落石の除去活動中に、観光客や地元の方々とは大きな声で「こんにちは！」とあいさつを交わし、「ありがとう」「がんばって」とたくさん声を掛けてもらえたことが非常に励みになったようでした。清掃後は、遊覧船で神龍湖を巡り、帝釈焼きを食べました。



神龍湖遊歩道の落ち葉を掃く生徒たち。観光客と大きな声で挨拶をかわしました。



三坂駐車場から桜橋まで遊歩道の落石を取除き、安全に歩けるようになりました。



清掃活動後は遊覧船に乗り神龍湖を巡りました。初めて乗船した生徒もいました。

中学校が統合され、地域の方々との交流が少なくなっている中学生に貴重な経験になりました。



ガイドのながの村の方から『石筍』という名前の鍾乳石の説明を聞く児童。



鍾乳洞内で一番広い空間『黄金の間』でみんなで記念撮影。



世界に2例しかみられないカルサイトテーブル。



鍾乳洞から無事、帰還しました。

令和3年11月21日（日）神石小学校3年生以上の児童と保護者の皆さんなど12名が永野地域の『幻の鍾乳洞』の見学をしました。児童全員がはじめての入り洞で、朝からドキドキ、ワクワク、楽しみだったそうです。鍾乳洞の中には、急なはしこを登ったり、降りたりの難関もありましたが、「落ちそうで怖かったけど、ちゃんと登れたよ！」と胸を張っていました。約1時間の洞内の見学では、声の反響に驚いたり、至近距離でコウモリを観察したり、めずらしい鍾乳石に歓声をあげたり、好奇心を刺激されていました。終始元気な児童達でしたが、帰りの坂道は相当きつかったようでした。しかし、見学を終え「来年もまた来る？」と聞くと、「来る！」と即答でした。

自然と遊ぼう in 永野 幻の鍾乳洞探検



1月・2月参加者募集

手作り こんにゃく講座

【第1回】2月8日(火)
【第2回】2月9日(水)
時 間 9:00～12:00
参加費 1,000円
持参物 エプロン・三角巾
マスク

手作り 豆腐講座

日 時 2月1日(火)
9:00～12:00
参加費 1,000円
持参物 エプロン
三角巾
厚手のゴム手袋
持帰り用容器
マスク

初心者 スマホ教室

【第1回】1月27日(木)
【第2回】1月28日(金)
【第3回】1月31日(月)
時 間 13:30～15:00
参加費 無料
持参物 スマートフォン
*スマートフォンの貸出し
あります。

手作り 味噌講座

【第1回】1月11日・12日
【第2回】1月18日・19日
【第3回】1月25日・26日
時 間 9:00～12:00
参加費 各回 1,500円
持参物 白米1升・三角巾
エプロン・マスク